

2016年度 特許情報・調査セミナー（上級者向け）

化学特許情報検索法 (侵害予防調査)

B
25

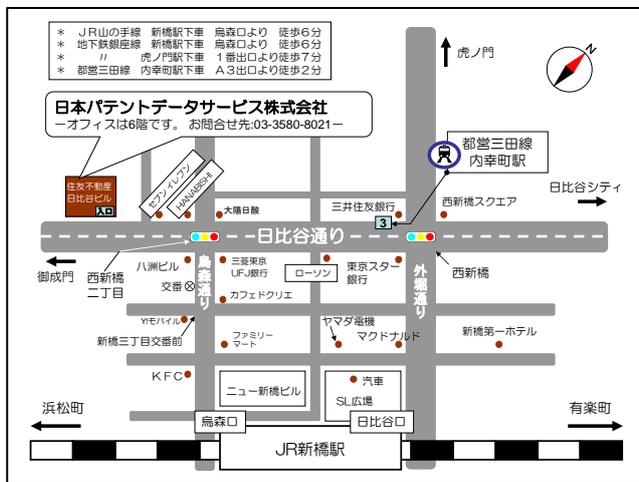
PC
実習

F I と F タームとキーワードの適切な活用法

入門 ← レベル → 上級

研究開発、新製品の発売において他社特許を侵害していないことが重要となります。

そこで、化学分野における侵害予防のための特許検索について、まず、侵害予防検索の位置付けを明確にし、特許情報の特長を把握した上で、いくつかのテーマのそれぞれにおける特異な状況を的確に捉え、深く切り込んだ（特許分類の F I と F ターム、キーワードの請求範囲と全文、および上位概念における適切な使い方）検索を行い、侵害予防のための特許検索の本質に迫ります。



講師：平野邦男

元 出光興産(株) 知的財産部

場所：日本パテントデータサービス(株) セミナールーム

東京都港区西新橋 2-8-6

住友不動産日比谷ビル 6F

TEL:03(3580)8021 FAX:03(5512)7810

時間：1日間コース（午前 10:00～午後 4:00）

受講料：20,000 円（税別）

定員：24 名（先着順申し込み）

開催日：8月23日（火）、2017年2月1日（水）

【申込方法】 F A X または e メールでお受けいたします。FAX: 03(5512)7810 メール: chizai-semi@jpbs.co.jp
(受講料をメールまたは F A X にてお送り致します。5 営業日以内に届かない節はご一報ください。)

【キャンセル】 セミナー開催日前 10 日以降にキャンセルされた場合には、受講料を請求させていただきます。但し、講師の都合などで急遽開催が見送られた場合には受領済みの受講料を返却させていただきます。

お申込日 年 月 日

「化学侵害予防特許調査」申込書

日本パテントデータサービス株式会社 知財研修部 行 (F A X : 03-5512-7810)

会社名				部課名	
住所	〒				
TEL				FAX	
参加希望日:	<input type="checkbox"/> 8月23日 <input type="checkbox"/> 2017年2月1日				
受講者氏名		所属		特許検索経験	<input type="checkbox"/> 有(年) <input type="checkbox"/> 無
E-mail				弁理士番号	
受講者氏名		所属		特許検索経験	<input type="checkbox"/> 有(年) <input type="checkbox"/> 無
E-mail				弁理士番号	
支払方法	<input type="checkbox"/> 単独請求書・銀行振込 <input type="checkbox"/> 当日現金 <input type="checkbox"/> 合算請求(お取引口座:)				

備考： ※弁理士の方は弁理士(登録)番号をご記載ください。(本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。)

セミナースケジュール 化学分野の特許情報検索法（侵害予防調査）

午前 10:00	講師ご紹介
10:05	1. 侵害予防特許検索 (侵害予防検索とは何かを確認する)
10:30	1. 1 検索が必要な範囲 ・ 技術の拡がり、実施範囲、検索範囲の明確化の重要性 1. 2 特許分類とキーワード テーマ：LLDPEとポリアミドの積層体 ・ Fターム、FIおよびキーワードの特性を確認する
11:20	2. 検索実習 2. 1 樹脂組成物 テーマ：ポリスチレン、ガラス繊維含有ポリカーボネート樹脂組成物 ・ Fタームの付加コードの活用（樹脂主成分、添加剤） ・ 請求範囲と全文の違い
11:45	昼休憩
12:45	午前中の続き 2. 2 化粧品 テーマ：コラーゲンとシルクを含有した化粧品 ・ 特許分類（Fターム、FIの活用） ・ キーワードと特許分類の違い
14:30	休憩
14:45	2. 3 樹脂の用途 テーマ：野菜用通気性LLDPE包装材料 ・ Fターム、FIの活用 ・ キーワードの上位概念検索
16:00	質疑・応答 終了

【備考】

- ・ データベースは「JP-NET」を各人1台のパソコンを使用しての検索実習を予定しております
- ・ セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。可能な限りお答えさせていただきます。